

研究課題評価シートの記入方法 (WEB 評価フォームの入力方法)

1. 共通事項

- ① 評価対象の研究課題毎に評価シート(回答セクション)が用意されますので、各委員には評価シート(評価フォーム)に従って各課題の評価結果を記入していただきますようお願いいたします。
- ② 研究課題毎に、まず、研究担当者から概要説明を行い、その後質疑応答の時間を設けますので、疑問点等を持たれた場合は、忌憚なくご質問等を投げかけて下さい。各研究課題の説明時間は、7分程度とします。概要説明及び質疑応答の間、及びその終了後の若干の時間で、評価シートの各評価項目右欄の「□」に「レ」等のチェックを記入してください(各評価項目の下にある選択肢から評価を選択してください)。1つの研究課題あたり、説明開始から評価終了までの時間は、20分程度を目安とします。
- ③ 各項目について、改善措置等が必要と判断する評価(やや低い、やや不適切等、普通より下のランクの評価)又は対象外であるとの評価をされた場合は、その視点又は理由、改善(変更)すべき点を各欄(次の項目)の「特記事項」に記載願います。また、中央値より上のランクに評価された場合も、その理由等を記載いただければ有難く存じます。
- ④ 評価シート(評価フォームの入力)は、極力、研究評価委員会終了時までに入力を済ませて事務局に提出(送信)して下さい。

2. 事後評価用評価シート

- ① 「1.これまでの研究の進め方(手順、手段、手法)は適切であったか」については、事後評価を行う時点の社会的・技術的状況を踏まえ、研究の進め方の適切性について、総括的評価を行うものです。
- ② 「2.研究成果のレベルはどうであったか」については、最終成果の到達度を含め、研究終了までに実際に得られた研究成果の質的・内容的なレベルを評価するものです。
- ③ 「3.(当初の計画からの変更があった場合、)その理由・内容は適切か」については、事前評価を受けた当初の計画に照らし、研究内容等に変更があった場合において、その理由と変更内容の適切性について評価するものです。
- ④ 「4.研究成果の発表状況は適切か」については、研究の達成度から見て所内外での研究成果の発表状況が適切であったかどうか評価するものです。
- ⑤ 「5.得られた成果から社会的効果が期待されるか」については、事後評価を行う時点の社会的・技術的状況を踏まえ、最終的に得られた研究成果からどの程度の社会的効果が期待されるか、評価するものです(社会的有用性)。

3. 事前評価用評価シート

- ① 「1.(1) 社会的必要性が高いか」については、以下の視点からどの程度社会的ニーズがあると認められるのか、評価するものです。
 - (1) 安全・環境問題等の具体的社会ニーズとの関連が明確である等、研究を行う社会的必要性が認められるかどうか。
 - (2) 内外の政府当局の施策（法令整備、答申、白書、アクションプラン等他）、マスコミ等の指摘等の社会的動向を踏まえているか。
- ② 「1.(2) 当研究所が行う必要性が高いか」については、民間事業者や他の研究機関でなく、人的・財的資源が限られる当研究所で行う合理的必要性がどの程度認められるか、当研究所の設置目的に照らし評価するものです。
- ③ 「1.(3) 研究成果から社会的効果が期待されるか」については、研究成果が社会ニーズに対し解決・改善効果をもたらすとどの程度期待されるか、また、誰にどのように活用されると想定されるか、評価するものです。
- ④ 「2.(1) 研究目標、目的が明確に定められているか」については、研究の目標、目的が具体性を持って明確化されているか、評価するものです。
- ⑤ 「2.(2) 研究目標の水準は適切か」については、技術的合理性や最新の動向調査を踏まえた上で、研究の到達目標が適切なレベルに設定されているかを評価するものです。
- ⑥ 「2.(3) 目標達成のための研究手法は適切か」については、研究目標達成のための手法・プロセスが合理的であるか、独創性であるか、あるいは高い有効性が見込まれるか等、研究手法設定の適切さを評価するものです。
- ⑦ 「2.(4) 研究期間は適切か」については、研究の内容、難易度等に照らし、期間が適切であるかどうか、評価するものです。
- ⑧ 「2.(5) 予算額、研究者数は適切か」については、研究の内容、難易度等に照らし、予算額・研究者数が適切であるかどうか、評価するものです。
- ⑨ 「3. 成果の質に対する期待度」については、研究計画から判断して、どの程度の成果の質が期待できるか、評価するものです。